

事業計画書

事業名	(仮称) 沼津リバーサイドホテル リバービューテラス造作工事
実施場所	沼津市上土町 100-1
実施予定期間	平成30年4月1日から平成30年5月31日

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p><u>本事業のコンセプト</u></p> <p>ホテル名でもあるリバーサイドは、景観も良く穏やかな水面を見ながら落ち着いて散歩、ジョギングができる空間です。</p> <p>そこに、一段高いテラスをすることで、くつろいで自由に休憩をしたり会話を楽しんだりするスペースを提供します。</p> <p>ホテル内の喫茶コーナーと出入りができるようにすることで、コーヒーやジュースを飲みながら、多くの年代の方に空間を楽しんでもらうことをコンセプトにしています。喫茶コーナーでは、軽食の提供も考えています。</p> <p><u>日程</u></p> <p>平成30年4月初旬 設計確定 平成30年4月中旬 施工開始 平成30年4月29日 プレオープン(ホテルで利用) 平成30年5月中旬 一般開放、テイクアウト商品の提供</p> <p><u>施設概要</u></p> <p>沼津リバーサイドホテル川辺側の植栽帯に沿って、高さ3mと2mの高さに、デッキを設けます。外部階段で、上階のテラスに上がることができます。ホテル内喫茶コーナーからテラスに出ることもできます。</p> <p>テーブル5台、椅子10脚を設置予定。</p> <p><u>施設の利用方法</u></p> <p>皆様に自由に使っていただけるように下記を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・騒音などの問題から利用時間は制限します。 (特定日を除く) ・公共空間であるため禁煙とします。 ・テラスでの飲食は、落下しても安全なように紙、プラスチック製などの食器で提供します。 ・ホテルの予定、天候などにより利用できない場合があります。

運営体制

当ホテルの施設と付随するため清掃、管理は問題ないと考えます。飲食の提供もホテル内喫茶コーナーを利用させていただきます。テラスに関してはセルフサービスとなります。

軽食については、市内の飲食店からも提案をしていただき、季節により新しいものを提供することで話題性と集客を考えています。

◎事業効果

※事業の効果を記載して下さい。

ソフト部門のステップアップ型事業・ハード部門4事業については、事業効果に対して、客観的な評価ができるよう、成果指標と数値目標を設定するなど、その検証方法を必ず明記して下さい。

自由空間であるため利用者数などを目標にすることは難しいですが、テラスを利用していただけ飲食をしていただける方が、100件/月、貸切イベントなどの利用が1件/月、しない飲食店から提案していただく軽食、お菓子などの販売を夏休み中に実行することを、初年度目標とします。沼津市の広報誌、ホームページで広く告知をして、川沿いを楽しく歩く方、くつろぐ方が集まる空間作りをしていきます。

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを確認して下さい。

公益性	※不特定多数の住民の利益の増進、地域のまちづくりの推進に寄与する事項等を記載して下さい。 駅から近く、橋を渡る人、川辺を歩く人も認知しやすい自由空間として開放できることは公共性が高い事業である。
発展性	※活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 穏やかな川面の景色、風景を高い位置から眺め飲食ができる空間であり、SNSの写真映え、結婚式の2次会、パーティー利用などが見込められれば口コミによる波及効果が望める。

地域性	<p>※地域の実情・課題の解決に向け工夫した点、地域資源の活用などについて記載して下さい。</p> <p>市内の飲食店、物販店などと協力し、地域の特色を生かした食べ物の販売ができるメニューを取り入れていき、県外、海外からのホテル宿泊客にも地元の特産品の宣伝ができると考える。</p>
必要性	<p>※事業を実施する意義や、補助金の交付が有益で質の高い事業展開につながる理由について記載して下さい。</p> <p>特定の施設、飲食店で利用できるリバービューではなく、だれでも利用できる空間である事、ホテルに隣接することでおもてなしができるメリットがあげられ当社が実施することが最適であると考えます。</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、工夫した点について記載して下さい。</p> <p>河川空間の景観形成として初の試みであり、京都のような風景が増えていくことにより新しい空間づくりの進歩が考えられる。</p>
継続性	<p>※助成事業終了後も継続的・自立的な活動とするために、どのように取り組んでいくかについて記載して下さい。</p> <p>人にやさしい素材として木造で作ります。施設の耐久年数としては保守の方法、自然環境により変化しますが、この施設により河川空間利用の試みに魅力があることを発信し、広がりある街づくりが構築されることを希望します。</p>

◎特に高い公益性を有することの説明

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。

テラスの設置により、付近を訪れる人に狩野川の河川空間を楽しめる、憩いの場を提供することができる。ホテルの利用客だけでなく、誰でも自由に利用できる空間とします。

狩野川側から建物にアクセスできるようにすることで、当ホテルの公共物としての位置付けが向上する。